



緊急コールハンドラ

- [緊急コールハンドラの概要（1 ページ）](#)
- [緊急コールハンドラ的前提条件（2 ページ）](#)
- [緊急コールハンドラ タスク フロー（2 ページ）](#)
- [連携動作（10 ページ）](#)
- [緊急コールハンドラのトラブルシューティング（13 ページ）](#)

緊急コールハンドラの概要

緊急コールハンドラにより、当該地域の条例および規制に準拠してテレフォニー ネットワークで緊急コールを管理できます。

緊急コールを発信するには次の条件を満たしている必要があります。

- 発信者のロケーションに基づいて緊急コールを当該地域の公安応答局（PSAP）にルーティングする必要がある。
- 発信者のロケーション情報を緊急オペレータの端末に表示する必要がある。ロケーション情報は自動ロケーション情報（ALI）データベースから取得できます。

発信者のロケーションは、緊急ロケーション識別番号（Emergency Location Identification Number（ELIN））により判別されます。ELIN は、緊急コールが切断された場合や、PSAP が発信者と再度通話する必要がある場合に、緊急コール発信者に再接続するために使用できるダイヤルイン（DID）番号です。緊急コールは、この番号に関連付けられているロケーション情報に基づいて PSAP にルーティングされます。

オフィスシステムなどのマルチラインの電話システムの場合、電話機を ELIN グループに分類することで、複数の電話機を ELIN と関連付けることができます。緊急コールハンドラの ELIN グループは、ロケーションを示します。この ELIN グループの ELIN を、ALI データベース内のロケーションにマップする必要があります。

各ロケーションには、同時緊急通話に対応するために必要な数の ELIN が作成されている必要があります。たとえば、5 つの同時通話をサポートするには、ELIN グループ内に 5 つの ELIN が必要です。



(注) 緊急コールハンドラは、各クラスタに対して最大 100 のELIN をサポートします。

ELIN グループを使用できる電話のタイプは次のとおりです。

- SIP および SCCP IP フォン
- CTI ポート
- MGCP および SCCP アナログ電話
- H.323 フォン

緊急コールハンドラの前提条件

例

緊急コールハンドラをネットワークに導入する前に、ALI 送信プロセスをテストすることを推奨します。サービス プロバイダーと協力して、PSAP で ALI データを使用し、ご使用のネットワークに正常にコールバックできることをテストします。

ローカル PSAP からの ELIN 番号を予約します。法令や規則は場所や企業によって異なるため、この機能を導入する前に、セキュリティに関するニーズと法的なニーズを調査します。

緊急コールハンドラ タスク フロー

始める前に

- [緊急コールハンドラの前提条件 \(2 ページ\)](#) を確認してください。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---------------------------------------|--|
| ステップ 1 | 緊急コールハンドラの有効化 (4 ページ) | Cisco Unified Communications Manager の緊急コールハンドラ機能を有効にします。緊急コールハンドラは、基本的な緊急コール機能を提供し、スタティック設定による電話場所割り当てを使用し、限られた場所をサポートします。指定場所の数を増やしたり、ダイナミックに場所割り当てをしたりといった高度な |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| | | 緊急コール機能が必要な場合は、Cisco Emergency Responderをご確認ください。 |
| ステップ 2 | 緊急ロケーション グループの設定 (5 ページ) | 特定のサイトまたは場所に対し、緊急場所 (ELIN) グループを設定します。 |
| ステップ 3 | 緊急ロケーション グループへのデバイス プールの追加 (5 ページ) | 緊急ロケーション (ELIN) グループを使用するようにデバイス プールを設定します。 |
| ステップ 4 | (任意) 緊急ロケーション グループへのデバイスの追加 (6 ページ) | <p>特定の緊急ロケーション (ELIN) グループを使用するように、特定のデバイスを設定します。このデバイスに関連付けられたデバイス プール (ELIN) グループを使用する場合には、このセクションを無視できます。</p> <p>(注) デバイス レベルで作成された設定は、デバイスプールレベルで作成されたいかなる設定も上書きします。</p> |
| ステップ 5 | ルートパターンとトランスレーション パターンの有効化 (7 ページ) | <p>ルートパターンまたはトランスレーション パターンの緊急ロケーション (ELIN) サービスを有効にします。</p> <p>注意 緊急コールハンドラの設定により ELIN を変換する可能性があるため、発信元変換マスクはゲートウェイまたはトランクに設定されません。</p> <p>(注) ルートパターンまたはトランスレーションパターンいずれかの有効化が必須ですが、両方の有効化も可能です。</p> |
| ステップ 6 | <p>(任意) ELIN グループの情報と電話の一括管理タスクを実行するには、次の手順を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緊急ロケーション グループ情報のインポート (8 ページ) • 緊急ロケーション グループ情報のエクスポート (9 ページ) | このセクションでは、ELIN グループの情報を更新し、新しいELINグループに電話を追加する際に使用できる一括管理タスクについて説明します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide, Release 11.0(1)』を参照してください。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--|--|----|
| | <ul style="list-style-type: none"> 新しい緊急ロケーショングループによる電話の更新 (10 ページ) | |

緊急コールハンドラの有効化

Cisco Unified Communications Manager の緊急コールハンドラ機能を有効にします。緊急コールハンドラは、基本的な緊急コール機能を提供し、スタティック設定による電話場所割り当てを使用して、限られた場所をサポートします。指定場所の数を増やしたり、ダイナミックに場所割り当てをしたりといった高度な緊急コール機能が必要な場合は、Cisco Emergency Responderをご検討ください。



(注) Cisco Emergency Responder などの外部緊急コールソリューションをすでに使用している場合は、この機能を有効にしないでください。

この機能を有効にする場合は、必ず外部のこの機能を無効にしてください。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[コールルーティング (Call Routing)] > [緊急コールハンドラ (Emergency Call Handler)] > [緊急ロケーション構成 (Emergency Location Configuration)]。

ステップ 2 [緊急ロケーション設定 (Emergency Location Configuration)] ウィンドウから、以下のことを行います。

- 緊急コールハンドラ機能を有効にするには、[緊急ロケーション (ELIN) サポートの有効化 (Enable Emergency Location (ELIN) Support)] チェックボックスをオンにします。デフォルト設定は「無効」です。これを有効にすると、この機能に関連する設定が[関連設定 (Related Settings)] ペインに表示されます。この機能を動作させるには、これらの設定を行う必要があります。これらの関連設定を行う方法の詳細については、次のタスクを参照してください。
- 緊急コールハンドラ機能を無効にするには、[緊急ロケーション (ELIN) サポートの有効化 (Enable Emergency Location (ELIN) Support)] チェックボックスをオフにします。

(注) この機能を無効にすると、設定されているすべての関連する設定が削除されます。設定されているすべての設定については、[関連設定 (Related Settings)] ペインを参照してください。

(注) この機能を無効にすることを希望し、ELIN グループに関連付けられているデバイスが 500 を超える場合、機能を無効にする前に、関連付けを 500 未満になるまで手動で削除する必要があります。

ステップ3 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急ロケーション グループの設定

特定のサイトまたは場所に対し、緊急場所（ELIN）グループを設定します。

始める前に

[緊急コールハンドラの有効化（4 ページ）](#)

手順

- ステップ1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[コール ルーティング（Call Routing）]>[緊急コールハンドラ（Emergency Call Handler）]>[緊急ロケーション（ELIN）グループ（Emergency Location (ELIN) Group）]。
- ステップ2 [緊急ロケーション（ELIN）グループの設定（Emergency Location (ELIN) Group Configuration）] ウィンドウで、[名前（Name）] フィールドにグループの名前を入力します。
- ステップ3 [番号（Number）] フィールドに、公安応答局（PSAP）に登録された DID 番号のプールを入力します。
- ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急ロケーション グループへのデバイス プールの追加

緊急ロケーション（ELIN）グループを使用するようにデバイス プールを設定します。

始める前に

[緊急ロケーション グループの設定（5 ページ）](#)

手順

- ステップ1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[システム（System）]>[デバイス プール（Device Pool）]。
- ステップ2 [デバイス プールの検索と表示（Find and List Device Pools）] ウィンドウで、既存のデバイス プールを追加する場合、[検索（Find）] をクリックし、リストからデバイス プールを選択します。新しいデバイス プールを追加するには、[新規追加（Add New）] をクリックします。
- ステップ3 [デバイス プールの設定（Device Pool Configuration）] ウィンドウで、[緊急ロケーション（ELIN）グループ（Emergency Location (ELIN) Group）] ドロップダウン リストから、デバイス プールを追加する ELIN グループを選択します。新しいデバイス プールを追加する場合、そのほかの必須フィールドを入力します。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急ロケーション グループへのデバイスの追加

特定の緊急ロケーション（ELIN）グループを使用するように、特定のデバイスを設定します。このデバイスに関連付けられたデバイス プール（ELIN）グループを使用する場合には、このセクションを無視できます。



(注) デバイス レベルで作成された設定は、デバイス プール レベルで作成されたいかなる設定も上書きします。



(注) ELIN グループに追加するデバイスは、そのデバイスが配置されている特定の場所を表す ELIN グループに追加する必要があります。

始める前に

[緊急ロケーション グループへのデバイス プールの追加 \(5 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。

(注) IP フォン以外のタイプの電話機を使用している場合は、そのタイプの電話機の関連設定ページに移動します。

ステップ 2 [電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウで、既存のデバイスを追加する場合は、[検索 (Find)] をクリックし、設定するデバイスをリストから選択します。新しいデバイスを追加する場合は、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

ステップ 3 新しい電話機を追加する場合は、[電話機のタイプ (Phone Type)] ドロップダウン リストから追加する電話機のタイプを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 4 [電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、デバイスを追加する ELIN グループを [緊急ロケーション (ELIN) グループ (Emergency Location (ELIN) Group)] ドロップダウン リストから選択します。新しいデバイスを追加する場合は、その他の必要なフィールドにも入力します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

ルートパターンとトランスレーションパターンの有効化

ルートパターンまたはトランスレーションパターンの緊急ロケーション（ELIN）サービスを有効にします。



(注) ルートパターンまたはトランスレーションパターンいずれかの有効化が必須ですが、両方の有効化も可能です。

始める前に

[緊急ロケーショングループへのデバイスの追加（6 ページ）](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] から、次のいずれかのウィンドウを選択してください。

- ルートパターンを有効にするには、[コールルーティング（Call Routing）] > [ルート/ハント（Route/Hunt）] > [ルートパターン（Route Pattern）] を選択します。
- トランスレーションパターンを有効にするには、[コールルーティング（Call Routing）] > [トランスレーションパターン（Translation Pattern）] を選択します。

ステップ 2 [ルートパターンの検索と一覧（Find and List Route Patterns）] または [トランスレーションパターンの検索と一覧（Find and List Translation Patterns）] のウィンドウで、[検索（Find）] をクリックし、リストからルートパターンまたはトランスレーションパターンを選択します。

ステップ 3 [ルートパターン設定（Route Pattern Configuration）] または [トランスレーションパターン設定（Translation Pattern）] ウィンドウで、[緊急サービス番号（Is an Emergency Services Number）] のチェックボックスをオンにします。

(注) 緊急コールハンドラを使用し、Cisco Emergency Responder などその他外部の緊急コールのソリューションを使用しない場合のみ、このチェックボックスをチェックします。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急ロケーショングループと電話の一括管理

- [緊急ロケーショングループと電話の一括管理のタスクフロー（8 ページ）](#)

緊急ロケーショングループと電話の一括管理のタスクフロー

このセクションでは、ELIN グループ情報を更新、または新しい ELIN グループを追加するのに使用できる一括管理タスクについて説明します。一括管理の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide, Release 11.0(1)*』を参照してください。



- (注) 次の手順を実行する前に、緊急コールハンドラ機能が有効であることを確認します。[緊急コールハンドラの有効化 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | 緊急ロケーショングループ情報のインポート (8 ページ) | 一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をインポートします。 |
| ステップ 2 | 緊急ロケーショングループ情報のエクスポート (9 ページ) | 一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をエクスポートします。 |
| ステップ 3 | 新しい緊急ロケーショングループによる電話の更新 (10 ページ) | 複数の電話を検索して、一覧表示し、新しい緊急ロケーション (ELIN) グループを設定します。 |

緊急ロケーショングループ情報のインポート

一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をインポートします。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[一括管理 (Bulk Administration)] > [インポート/エクスポート (Import/Export)] > [インポート (Import)]。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウンリストから、インポートする .tar ファイルの名前を選択して、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 3** [インポートの設定 (Import Configuration)] セクションに、.tar ファイルのすべてのコンポーネントが一覧表示されます。ユーザがインポートするオプションの ELIN グループ関連のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを、対応するラジオボタンをクリックして選択します。
- ステップ 5** 選択したデータをインポートするためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。[ステータス (Status)] セクションのメッセージは、ジョブが正常に送信されたことを通知します。

- ステップ 6** このジョブをスケジュール設定したり、アクティブにしたりするには、[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

緊急ロケーション グループ情報のエクスポート

一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をエクスポートします。

始める前に

[緊急ロケーション グループ情報のインポート \(8 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[一括管理 (Bulk Administration)] > [インポート/エクスポート (Import/Export)] > [エクスポート (Export)]。
- ステップ 2** [データのエクスポート (Export Data)] ウィンドウの [ジョブ情報 (Job Information)] ペインで、[Tar ファイル名 (Tar File Name)] フィールドに拡張子を除いた .tar ファイル名を入力します。BPS は、このファイル名を使用して設定の詳細情報をエクスポートします。
- (注) 同時にエクスポートされるすべてのファイルは、まとめてバンドルされ (.tar)、サーバからダウンロードできます。
- ステップ 3** ELIN グループ情報をエクスポートするには、[エクスポートするアイテムの選択 (Select Items to Export)] ペインで [ELIN グループ (Elin Group)] チェック ボックスをオンにします。
- ステップ 4** (任意) 以下の手順を実行します。
- ELIN グループが設定されたデバイス プールをエクスポートするには、[デバイス プール (Device Pools)] チェック ボックスをオンにします。
 - ELIN グループが設定された電話機をエクスポートするには、[電話機 (Phone)] チェック ボックスをオンにします。
- ステップ 5** [ジョブの説明 (Job Descripton)] フィールドに、そのジョブに関して優先する説明を入力します。「Export Configuration」がデフォルトの説明です。
- ステップ 6** 対応するラジオ ボタンをクリックすることにより、ジョブを今すぐ実行するか後で実行するかを選択できます。
- ステップ 7** 選択したデータをエクスポートするジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。[ステータス (Status)] ペインのメッセージにより、ジョブが正常に送信されたことが通知されます。
- ステップ 8** このジョブをスケジュール設定したりアクティブにしたりするには、メイン メニューの [一括管理 (Bulk Administration)] の [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

新しい緊急ロケーション グループによる電話の更新

複数の電話を検索して、一覧表示し、新しい緊急ロケーション（ELIN）グループを設定します。

始める前に

[緊急ロケーション グループ情報のエクスポート（9 ページ）](#)

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、**[一括管理（Bulk Administration）] > [電話（Phones）] > [電話の更新（Update Phone）] > [クエリ（Query）]** の順に選択します。
- ステップ 2** [更新する電話の検索および一覧表示（Find and List Phones To Update）] ウィンドウで、検索のパラメータを設定し、**[検索（Find）]** をクリックします。
- （注） すべての電話を更新するには、クエリを指定せずに、**[検索（Find）]** をクリックします。
- ステップ 3** [更新する電話の検索および一覧表示（Find and List Phones To Update）] ウィンドウに選択した電話の詳細が表示されます。**[次へ（Next）]** をクリックします。
- ステップ 4** [電話の更新（Update Phones）] ウィンドウで、**[緊急ロケーション（ELIN）グループ（Emergency Location (ELIN) Group）]** のチェックボックスをオンにして、ドロップダウン リストから新規 ELIN グループを選択します。
- ステップ 5** **[Submit]** をクリックします。`
-

連携動作

| 機能 | データのやり取り |
|--|--|
| サイレントコール拒否 （Do Not Disturb Call Reject） | <p>PSAP コールバックからのコールにより、接続先デバイスのサイレント（DND）設定が上書きされます。</p> <p>DND 通話拒否が有効になっている場合、トランスレーション パターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出された場合は、その電話機の DND 設定に関係なく、コールが電話機にルーティングされます。</p> |

| 機能 | データのやり取り |
|------------------------------------|--|
| すべてのコールの転送 | <p>PSAP コールバックからのコールにより、接続先デバイスの不在転送（CFA）設定が上書きされます。</p> <p>電話機で CFA が有効になっており、トランスフォーメーションパターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出された場合は、その電話機の CFA 設定に関係なく、コールが電話機にルーティングされます。</p> |
| シングル ナンバー リーチ（Single Number Reach） | <p>PSAP コールバックは、シングルナンバー リーチ（SNR）設定を無視します。</p> <p>電話機で SNR が有効になっており、リモート接続先が携帯電話の番号を指している場合。トランスレーション パターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN 番号が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはリモート接続先ではなく電話機にルーティングされます。</p> |

| 機能 | データのやり取り |
|---------------|---|
| エクステンションモビリティ | <p>PSAP コールバック コールで Extension Mobility (EM) ステータスが考慮されます。</p> <p>EM プロファイル クレデンシャルを使用してログインし、トランスフォーメーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ユーザがログインしている ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはコールを開始したデバイスにルーティングされます。</p> <p>(注) これは、ユーザがまだログインしているデバイスです。</p> |
| | <p>PSAP コールバックの実行前にユーザが EM からログアウトすると、PSAP コールバックが失敗します。</p> <p>EM プロファイル クレデンシャルを使用してログインし、トランスフォーメーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され PSAP コールバックを使用して呼び出された場合、ユーザがそれ以降にログアウトしていると、コールは開始されたデバイスにルーティングされず失敗します。</p> |
| | <p>ユーザが別のデバイスでログインした PSAP コールバック。</p> <p>ユーザが電話機 A で EM プロファイル クレデンシャルを使用してログインし、トランスフォーメーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断された場合は、ユーザが電話機 A からログアウトする必要があります。その後で、ユーザが同じプロファイルを使用して別の電話機 (電話機 B) にログインし、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールは通常の優先順位の電話機 B にルーティングされます。これは、CFA 設定が無視され、DND 設定が無視されないことを意味します。</p> |
| | <p>複数のログインを使用した PSAP コールバック コール。</p> <p>ユーザが電話機 A で EM プロファイル クレデンシャルを使用してログインし、トランスフォーメーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN 番号がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ユーザが電話機 A にログインしたまま同じプロファイルを使用して別の電話機 (電話機 B) にログインし、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはコールを開始したデバイスである電話機 A にのみルーティングされます。</p> |
| | |

| 機能 | データのやり取り |
|------------|--|
| デバイス モビリティ | <p>ローミング デバイスは、アウトバウンド緊急コールにローミング デバイス プールの ELIN グループを使用します。</p> <p>デバイス モビリティが有効になっているデバイスをそのホームの場所からローミングの場所に移動し、ローミング デバイス プールに関連付けられるように IP サブネットを変更します。トランスレーション パターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。ELIN は、ローミング デバイス プールに関連付けられた ELIN グループに属しています。</p> |
| 共用回線 | <p>PSAP コールバックは、回線が複数のデバイスで共有されている場合でも、緊急コールを発信したデバイスでのみ鳴動します。</p> <p>電話機 A と電話機 B が電話番号 (DN) を共有します。トランスレーション パターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはコールを開始したデバイスである電話機 A にのみルーティングされます。</p> |

緊急コールハンドラのトラブルシューティング

緊急コールハンドラのトラブルシューティング シナリオ

このセクションでは、次の分野にある緊急コールハンドラのトラブルシューティング シナリオについて説明します。

- 設定シナリオ
- 発信コールのシナリオ
- 着信コールのシナリオ

設定シナリオ

緊急コールがビジー信号を受信し、ルーティングされない

問題：

緊急コールがビジー信号を受信し、ルーティングされません。

ソリューション：

緊急コールをダイヤルしているユーザにリオーダー音が流れている場合は、以下のチェックを実行してください。

- 緊急コールのトランスレーションまたはルートパターンが使用されているかどうかを確認します。これには、CSS 上のデバイスまたは電話のチェックが必要な場合があります。
- 緊急コールのトランスレーションまたはルートパターンの [緊急サービス番号です (Is an Emergency Services Number)] チェック ボックスがオンになっており、それがゲートウェイに正しくルーティングされていることを確認します。

緊急コールをダイヤルしているユーザが正しいゲートウェイまたは Public Service Answering Point (PSAP) に到達していない場合は、電話またはデバイスの設定またはデバイス プール設定が正しい Emergency Location (ELIN) グループを使用して設定されていることを確認します。

リオーダー音が流れている最中に緊急場所の番号が外部からダイヤルされる

問題：

リオーダー音が流れている最中に緊急場所 (ELIN) の番号が外部からダイヤルされます。

原因：

このケースでは、ELIN が発信者の場所を特定するために使用される DID として設定されています。これは、どの電話機でも、他のどの目的にも使用すべきではありません。

ソリューション：

ELIN の設定情報を確認し、DID として設定されている ELIN を設定解除してください。

発信コールのシナリオ

発信緊急コールに発信者番号が緊急ロケーション番号として含まれていない

問題：

発信緊急コールに、発信者番号が緊急ロケーション (ELIN) 番号として含まれていません。

原因：

この ELIN のトランスレーション パターンまたはルート パターンが正しく設定されていませんでした。

ソリューション：

この ELIN のトランスレーション パターンまたはルート パターンが正しく設定されているかどうかを確認し、該当するトランスレーション パターンまたはルート パターンの設定ページで、[緊急サービス番号である (Is an Emergency Services number)] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

発信緊急コールに変更された緊急場所の番号が含まれる

問題：

発信緊急コールに変更された緊急場所の番号（ELIN）が含まれています。

原因：

発信トランクまたはルート リストに ELIN では必要のない余分な変換が含まれています。

ソリューション：

コールに適用された変換を確認し、発信トランクまたはルート リストに ELIN に必要な変換のみが存在していることを確認します。

着信コールのシナリオ

着信 PSAP コールバック コールが失敗する

問題：

着信 PSAP コールバック コールが失敗します。

原因：

元の緊急コールを発信したデバイスが正しく登録されていません。

ソリューション：

元の緊急コールを発信したデバイスがまだ登録されているかどうか、すべてのエクステンション モビリティが機能しているかどうかを確認してください。

着信 PSAP 折り返しコールが予測どおりにルーティングされない

問題：

着信 PSAP 折り返しコールが予測どおりにルーティングされません。

原因：

緊急ロケーション（ELIN）番号が元の発信者番号と一致しません。

ソリューション：

ELIN に対応する元の発信者を正常に逆マッピングするには、これら 2 つの番号が一致する必要があります。すでに着信ゲートウェイまたはトランクで変換があり、有意な数字が設定されている場合、最終的に変換された着信側が ELIN 番号に一致することを確認します。

着信 **PSAP** 折り返しコールが予測どおりにルーティングされない